

自然の学び

地域の自然環境や文化を学び
これからの地域づくりや、まちづくりに
活かすためのエコツアーを実施する

昨年度の活動

北に北摂連山、東に猪名川、西は武庫川に囲まれ育まれた地域、伊丹は奈良時代（天平3年）に僧行基が農業用の溜池を創りました。今は昆陽池公園で野鳥のオアシスとなっています。宝塚は聖徳太子が堂舎建立したことに始まる中山寺。秀吉が観音祈願で秀頼を授かり、秀頼は父秀吉に代り今の山門の本堂等を再建したと言われています。安産祈願、お礼参り、紅白千本梅園で有名です。

エコツアーでは昆陽池のカモの観察、山本から売布神社まで巡礼街道を歩きました。

宝塚市・あいあいパーク

今年度の活動

5月に予定していた第3回エコツアーをコロナの感染が拡大してきたため、やむなく延期しました。6月には今井一郎専門委員を講師に招いてエコツアーの意義について学びました。コロナの感染状況が少し穏やかになったので、3密（密閉・密集・密接）を回避しながら7月に第3回エコツアー「白洲次郎と川本幸民」（三田市）を実施しました。参加者38名。三田市観光協会のガイド支援並びに心月院の児島正龍住職様の講話をいただきました。10月に第4回エコツアー「メダカの学校」（猪名川町）を実施しました。参加者36名、初めてエンジョイ多世代グループとのコラボで行いました。ビジョン委員会の他グループとの協力関係も勉強になりました。11月に第5回エコツアー「弥生時代の加茂遺跡」（川西市）を実施しました。参加者32名。川西市文化財ボランティアガイドの会のガイド支援をいただきました。参加いただいた方々の、アンケートによると好感を持ってくださり、高い満足点をいただくことができました。目標の4市1町のエコツアーを実施できました。年度末に向けて、座学の研修と活動記録のまとめを行い、今後につないでいく宿題が残っています。

■グループ会議



グループ会議で阪神北摂民局管内5地区（伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町）の自然や文化等を学び、紹介するために全5回の「エコツアー」を計画し、事前調査、役割分担を決定しました。

■研修



グループ活動のベースは、委員がエコツアーの本質や具体的な取組方法、そして、北摂の自然環境や歴史文化を理解し学ぶことにあります。グループ内外の講師にて研修を実施し、レベルアップに取り組みました。

実践活動 第3回エコツアー

日時：令和3年7月25日（日）

場所：旧九鬼家住宅資料館 三田城址 心月院

三田観光協会のガイドの案内で旧九鬼家住宅資料館、三田ふるさと学習館、三田城跡、川本幸民顕彰碑、心月院九鬼家墓所まで訪ね、心月院で昼食後、児島正龍住職の講話と掛け軸、襖絵等の説明がありました。三田駅までビジョン委員の小野正彦氏と三宅具子氏のガイドで白洲次郎出生地、川本幸民出生地、妙三寺を訪ねて三田駅で解散しました。



三田城址

実践活動 第4回エコツアー 兼 メダカの学校

日時：令和3年10月17日（日） 場所：猪名川町立ふるさと館及び猪名川町環境交流館

エンジョイ多世代交流グループとのコラボで開催しました。ふるさと館では明満上人の手による木喰仏や昔懐かしい民具等の展示見学とドローンの操縦体験をしました。ふるさと館の近くには親水公園や野外ステージもあり四季を通じて楽しむことができます。環境交流館は使用停止となったプール跡を利用した施設です。ピオトープは新名神の工事で出た土砂を再利用して手作りされたものです。



ふるさと館



環境交流館 屋外ピオトープ

猪名川町には「三白（米、酒、寒天）三黒（炭、牛、栗）」と呼ばれた特産品があり、昔の産業として展示されて大人も子どもも楽しめます。

屋外のピオトープでは国の絶滅危惧種に指定されている「黒メダカ」を見ることができます。屋内の展示室では珍しい水生生物が展示されています。また、新名神の橋脚の下となった蓮も移植され、睡蓮とともに彩を添えていました。手作りならではの温もりがあり、猪名川メダカコムズの皆さまの努力に頭が下がります。

実践活動 第5回エコツアー

日時：令和3年11月7日（日）

場所：勝福寺古墳 川西市文化財資料館 加茂遺跡…

勝福寺古墳は出土品により6世紀初め第26代継体天皇に関係したこの地方支配の豪族と思われる格式高い全長40mの前方後円墳です。奈良時代創建の川西市域最古の寺、栄根寺廃寺や弥生時代中期の加茂遺跡は近畿地方を代表する大規模集落として評価されています。川西市文化財資料館では先人達が残した貴重な文化財が保管、展示され、その重要性を人々に伝えています。



勝福寺古墳

2年間を振り返って

自然の学びグループもコロナ禍で計画が進まず苦勞しましたが、グループ各位の知恵と工夫により、目標の達成に至り誠に喜ばしいことでした。令和2年8月の第1回グループ会議でかけた今期の目標は、「エコツアーは2年間で5回4市1町を巡り実施する。」「地域との交流を図る。」「里山文化を守る。」「伊丹諸白等の地域文化の紹介をする。」「ガイドの技法と心得、注意点を学ぶ。」「エコツアーの開拓、人材の育成、発掘を図る。」

2年間で目標がほぼ達成できたのは、グループ各位の努力の賜物であります。